

ESD for 2030 学び舎 PJ 12/5  
振り返り意見交換会

10/26 交流授業振り返り

CEE  
福岡さん

途中トラブル



柔軟な発想で対応  
⇒ 得るものが大きかったのでは

互いを知ろうという意識



勉強会の反映

- 秋田を意識する
- 日本がどの国か分かるまで
- お互いを分かるまで

正雄さん

コメンテーターとして心がけたこと

先生がやることを指導

生徒がどう思っているかを引き出して発表へ

外国に住む同世代との交流は大切  
セントルイス中も交流継続を希望

ケンタロウ  
オノさん

初

キリバス 中学校 (OO) 日本 中学校  
無事につながった  
(キリバスのネット環境▲)  
定時スタート  
(南洋国...のんびり)

事前の密なコミュニケーション

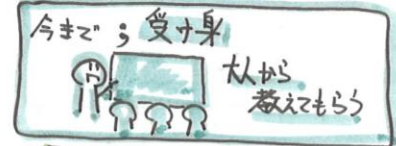


要 説明 / 補足

互いに得るものがあった  
キリバス側も交流の成果を実感

島田姓

本校の生徒は一番  
この事業の恩恵を受け



SDGsへの意識, 当事者意識  
世界を見つめる意識  
生活の中でできることをやる

セントルイス中  
生徒

私たちが抱える問題を  
同世代の子たちに伝える  
ことができて良かった

環境・常識・文化・土地  
の違いについて

気候変動教育

知らぬ人に  
思いを馳せる

1作でも会った  
思いを馳せる  
ことができる



# ESD for 2030 学び舎 PJ 1/5

## 振り返り意見交換会

### ① 一番の成果; キリバスとつながること

気候変動 国際理解 人権 } 地域の中だけでは 気づけない 感じられない

### ② ESDはミラー効果

日常の当たり前の中に 感謝する気持ち

⇒ キリバスに向き合って そこから跳ね返ってくる

鏡に映し出したものを見て 自分たちの取組の価値を感じる

### ③ 情緒的な効果

▲ オンライン; 空気を共有する(難)

○ 「つながった」感覚

広がった! ⇒ より身近になった

### ④ 対等にできた国際交流

▲ 気候変動; 共感に至らない

○ 心にふれる響く ⇒ 学びに跳みこめた

次のステップは 地域に働きかける アクション

### ⑤ 卓感のこもった理解

キリバスの生徒の 生の声

具体的に イメージ

### ⑥ 最高のESDモデル

▲ 気候変動教育

- 身近ではない
- ともかく大きな問題
- "誰かがやる"

#### <今回のキリバス>

○ オキエんの講演; 具体化 見える化

○ ハルソネットワーク; 思考の脱皮

○ オンライン交流; 卓感 行動化

「自分」という枠から 脱皮した思考

長仙沿った要素と 3つが重なる

- ① ホンモノと出会う (真実を知る)
- ② グローバルを感じる
- ③ 自分事にする

### 環境教育の原点

環境課題を解決するため

⇒ どう行動するか  
⇒ 行動する市民を育てる

心が痛まない 行動には至らない 魂をゆさぶる

小中学校の教育は 土壌を耕すこと

### ⑦ 評価の指標

ex) 宮城教育大学

「テキストマインク」  
生徒の感想から 学びを分析

### ⑧ 人を育てるPGI

感想が抽象的

⇒ 中了ならも、具体的な アクションの記載が あっても良い...

当事者意識の 醸成

⇒ 3年生 イベントの 終わるの 時 もない

ex) 1年生から3年間で 当事者意識 ⇒ 行動人 を育てる 設計

### ⑨ 生徒の"この後"...

他人事 ⇒ 自分事

Why? 林田では? 自分はどう 行動しよう

行動変容の 大きなきっかけ

@大曲南中

短い期間でも 生徒の考え方は 変化

### ⑩ 教員の変容

- 教員同士の交流の機会も
- 現場は多忙

⇒ 自らESDの授業づくり

### ⑪ キリバスとつながる成果

外国の同世代の生徒との交流

- 話す アジアの学校 とは初めて

- 発表できた
- 自国のことを改めて見つめ直した
- 交流を通してSDGsを知った